

一次防錆塗料

サルフィックス® W

Sulfix®



日本化学塗料株式会社



日本油脂グループ

サルフィックスW

鋼材やコンクリートパイルの端板などの溶接部分は屋外放置により錆が発生した場合、溶接施工がやりにくくなります。そのため一度錆が発生した開先部分はサンダーや塩酸を用いて除錆を行っていましたが、かなりの手間がかかります。『サルフィックスW』は事前に塗布しておくだけで発錆を防止し、除錆の手間を省略します。なおかつ、塗布後の溶接性に優れた“一次防錆塗料”です。

◆特長

1. 屋外放置された鉄部の発錆を防止する作用が顕著です。
2. 塗膜の上からの溶接性に優れています。
3. 特殊合成樹脂を主体としているので耐候性に優れています。
4. 鉄筋などの痩せ防止にも使用できます。
5. 塗布後も塗料の上塗りが可能です。
6. 粘度が低いので塗装が容易です。
(原液のままスプレー塗装が可能です。)

◆用途

屋外放置による鉄部の発錆防止を目的として、地盤へ埋め込むまたは打ち込む鋼管パイルや、コンクリートパイルなどの溶接用鉄部に事前に塗布しておきます。

本塗膜による溶接性への影響は、無塗布の場合とほとんど変わりません。

◆塗布方法

1. 塗布部分の油、水分、錆などを取り除きます。
2. 缶をよく振って均一にします。
3. 刷毛又はエアレススプレーで塗布します。
(塗装機の例：旭サナック製SUNQ400)

☆低温、高湿時は、乾燥に時間がかかる場合があります。

☆屋外でスプレー塗装を行う場合には、スプレーミストの飛散に注意し、必要に応じて保護シートを用いてください。

◆塗料の性状

項目	性状	備考
色調	淡褐色透明	
粘度	0.5～15.0 cp	25℃ B型粘度計
	13～16秒	25℃ F C # 4
比重	0.86～0.90	20℃ 比重カップ法
加熱残分	31～33%	105℃×3hrs
乾燥性	指触 5h	20℃ 75%RH
	硬化 10h	

◆荷姿及び容量

サルフィックスW	16L	石油缶
サルフィックスW	160L	ドラム缶
サルフィックスWシンナー	16L	石油缶

●消防法における指定数量

サルフィックスW	第4類第2石油類
サルフィックスWシンナー	第4類第2石油類

以上のため指定数量は合計で1,000Lです。

◆ 暴露性および溶接性

① 屋外暴露試験（耐候性および防錆性）

写真-1はφ800mmのコンクリートパイルの端板にサルフィックスWを刷毛で塗布し、屋外にサルフィックスW無塗布のコンクリートパイロと同時に暴露して、外観の経時的变化を写真で記録したものです。

その結果、サルフィックスWを塗布した端板は、無塗布の端板と比べて発錆防止効果が著しいことがわかります。

② 端板の溶接試験

φ350mmの端板2枚に、サルフィックスWを刷毛で塗布し、3週間放置後、φ1.6mmの軟鋼溶接棒で炭酸ガス溶接機（220～250A）を用いて溶接試験を行いました。（写真-2）

その結果、溶接性は無塗布の場合とほとんど変わらず良好でした。（写真-3）

※サルフィックスWの溶接性については、栃木県工業技術センターにて試験済みであり優秀な成績を修めております。（表-1参照）

またサルフィックスWは、

- 1) C、HおよびOが主体の有機物のため、溶接温度で分解してCO₂およびH₂Oになり、特に有害なガスを発生せず、溶接部への異物の混入もありません。
- 2) 標準塗布量は20～40g/m²で乾燥塗膜が5～10μ、通電性にも特に問題はありません。

写真-1 ◆ 3ヶ月暴露後のコンクリートパイロ



↑サルフィックスWを塗布したパイロ

↑サルフィックスWを塗布していないパイロ

写真-2 ◆ 端板の溶接試験

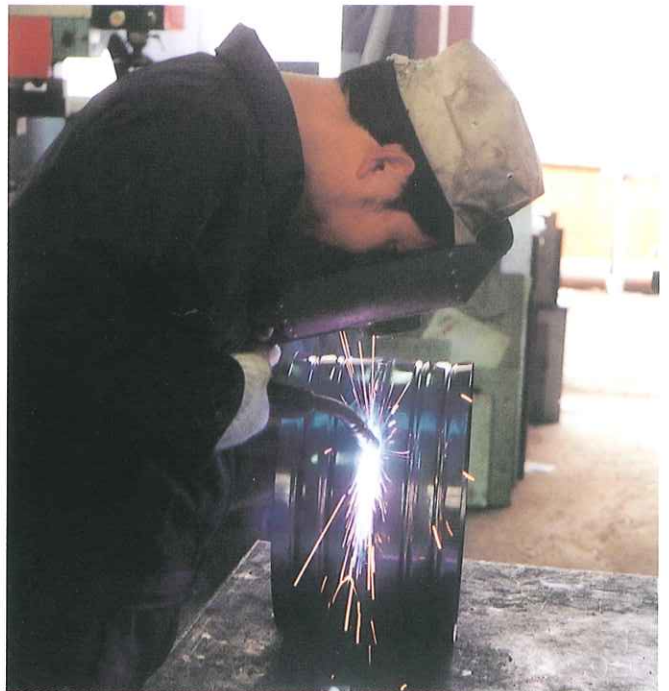


表-1 ◆ サルフィックスWの溶接試験結果

表示データ

項目	条件	アーク溶接		炭酸ガスアーク溶接	
		無塗布	サルフィックスW塗布	無塗布	サルフィックスW塗布
引張試験	引張強さ(N/mm ²) (kgf/mm ²)	487.1 (49.6)	496.5 (50.6)	523.3 (53.4)	524.8 (53.5)
	破断部	合格	合格	合格	合格
曲げ試験	型曲げ試験	合格	合格	合格	合格
	側曲げ試験	合格	合格	合格	合格
衝撃試験	(Kgf・m)	8.0	11.6	13.3	14.0
X線試験	(1級)	合格	合格	合格	合格

上記のことについては承認します。

平成5年 7月
 栃木県工業技術センター
 所長 谷田部 正

写真-3 ◆ サルフィックスWを塗布後の溶接部



◆**主な納入先**（五十音順、敬省略）

旭化成工業(株) 富士建材工場
 旭化成工業(株) 境工場
 岩手ヒューム管工業(株) 一関工場
 岩手ヒューム管工業(株) 八戸工場
 (株) ガイアクス
 貝原コンクリート(株) 和気工場
 貝原コンクリート(株) 笠岡工場
 (株) 鋼商 本社
 (株) 鋼商 岩手
 児玉コンクリート工業(株) 川口工場
 滋賀三谷セキサン (株)
 シントク工業 (株)
 セイナン工業 (株)
 大同コンクリート工業(株) 茨城工場
 大同コンクリート工業(株) 水島工場
 大同コンクリート工業(株) 佐賀三田川工場

大日コンクリート工業(株) 山口工場
 大日コンクリート工業(株) 福岡工場
 秩父コンクリート工業(株) パイル工場
 (株) テー・エム・シー
 東京三谷セキサン(株)
 (株) トーヨーアサノ東京工場
 (株) トーヨーアサノ沼津工場
 (株) 日進クリエート
 日本高圧コンクリート(株) 千歳工場
 日本高圧コンクリート(株) 宮城工場
 日本高圧コンクリート(株) 埼玉工場
 日本コンクリート工業(株) 川島工場
 日本ヒューム管 (株) 熊谷工場
 (株) 日立パイル
 富士コン (株)

藤村ヒューム管(株) 柏崎パイル工場
 前田製管(株) 水戸工場
 前田製管(株) 栃木工場
 前田製管(株) 水沢工場
 三谷セキサン(株) 金津パイルポール工場
 マックスコンクリート(株)
 マナック(株) 養老工場
 マナック(株) 滋賀工場
 三菱マテリアル建材(株) 荻田工場
 山崎パイル(株)

その他多くのコンクリート会社にてご使用いただいております。

◆**使用上の注意**

1. 缶に明示されている注意事項にしたがって取扱作業を行ってください。
2. 有機溶剤を含みますので、取扱中は火気厳禁とし、換気をよくし、密閉された場所では使用しないでください。
3. しっかりと蓋をし、直射日光に当たらない40℃以下の場所、火気、熱源から遠ざけて保管してください。
4. 炎天下に長く置いた場合にサルフィックスWの缶を開けますと、蒸発したシンナー等が吹き出すことがありますので、十分注意してください。

☆詳細な内容が必要な場合には製品安全データシート（MSDS）をご請求ください。

☆このカタログの記載事項は、当社の研究に基づき正確に記したものですが、製品改良などのために変更することがありますのであらかじめご了承ください。



日本化学塗料株式会社

〒252-1111 神奈川県綾瀬市上土棚北4-10-43

電話番号 0467-79-5711

FAX番号 0467-79-5477